

# 自己評価結果公表シート (令和4年度)

学校法人育保学園 アエしくまのた

## 1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

## 2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

## 3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者のスキルアップ
- ・保護者支援の充実
- ・地域支援の充実

## 4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
・保育者のスキルアップ	・外部研修を受けた職員に積極的に研修報告を行ってもらう事で、研修内容の情報共有を図ることができた。 ・法人内でのミニ研修会を年度内に数回行うことで、他施設の職員との交流を通して、情報交換を行うことができた。他施設で行っている遊びの内容の共有を行ったり、普段関わる機会の少ない、職員同士の交流を図ったりすることができたことは、研修の意義をとて感じられた。職員からも、前向きな意見が聞かれた。引き続き定期的に法人間での交流を持てるようにしていきたい。 ・豊中市教育、保育環境ガイドラインを、用いて環境の見直しを行った。その中で、職員の子どもに対する思いをそれぞれに語り合い、よりよい保育環境の構成を考えた。適切な子どもへの関わり方を再認識したりするようにしたことで、保育者のスキルアップにも繋がったと思われる。
・保護者支援の充実	・令和4年度からは、コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえたうえで、年間に予定していた、全ての行事を執り行うことができた。特に、親子の親睦会を開催できたことで、普段ゆっくりと話す機会を持つことが難しい保護者の方と話をすることができた。 ・保育参観も令和4年度は実施をすることができたため、普段の子ども達の様子を見ていただくことで、成長した点などを保護者の方と共に共感することができた。
・地域支援の充実	・園庭開放は、隔週開催且つ、人数制限を行いながらも年間通して、実施できた。総数80家庭程が参加された。 また、地域の公園に保育者が向かい、出前保育を実施することで、地域の方との繋がりを持つことができた。地域の保護者の方と話をすることで、幼稚園や保育園の情報を知りたい方もいらっやして、情報提供をする事ができている。簡単な触れ合い遊びや、手遊びを行い家庭でも取り入れられるようにしている。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育環境の見直し	・室内外に問わず、園内環境の見直しを行い、子ども達が主体的に遊べる環境構成を整えるようにしていきたい。保育者間で様々な意見を出し合い、ドキドキ、ワクワクするような環境づくりを目指したい。また、手作り玩具も次年度は、たくさん用意をしていくようにしたい。
・子どもへの適切な関わり方	・人権擁護のセルフチェックシートや、環境ガイドラインを用いりながら、子どもへの適切な関わり方を再認識するようにしていきたい。
・職員の働き方改革	・保育士の業務をICTを導入して省力化を進めてきているが、他にも、業務についての見直しを行い、保育士が健康で生き生きと保育ができるように、働き方改革を行ってきたい。